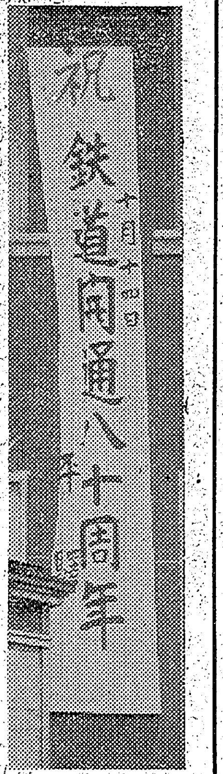
夕刊
いわき民報
発行所
平市田町 電381 1222
いわき民報社
編集兼発行人印刷人 田原登



記念式典を挙行

平駅では鉄道八十周年記念日の今十四日午前八時半から常磐線ホームで記念式典を挙行、一日名誉駅長を務める諸橋平市長が鉄道官服をまとつて臨席しさゝやかながらも厳粛に殉職者に対する黙禱を捧げた後、清水駅長、平市長の祝辞があり日本国有鉄道万才を三唱して閉会した

市長さん 名驛長振り

磯原まで臨時運轉（同乗記）

この日諸橋市長は一日駅長となり宇佐見市署長と佐藤地区署長は機関士、青田放送局長は車掌となつて上り午前九時十分平発で磯原駅まで往復し、午後一時から『新富』で座談会を開いた―本社記者もこの列車に同乗したが以下はその風景である―

紺色の官服に金筋二本の駅長帽を冠つた諸橋市長の姿は良く似合い昭和十八年に満洲奉天駅の助役を勤めたことがあるという前歴から落着きはらつた名駅長ぶり、七時三十分、駅員の出勤より一時間早く駅長室におさまる精勤振りで、清水二十三代駅長の案内で朝のラツシユアワー風景を見分、八時半日課の点呼に出席し『皆様の御協力で今日一日の私の任務に御協力を願う』と挨拶、鉄道万才を三唱して駅長室に戻つた、感想を聞くと『愉快な仕事だ、こんな大規模な構内を一手に持つのは責任あると共に実にやりがいがある』とニくさり、東京駅長の格式はあるとは二十三代清水駅長の弁

三つボタンの車掌服の青田平放送局長は先ず冒頭から『なにがなんだかさつぱり判らん』と少し上り気味、池上車掌助役の案内で役割を傾聴、あんがい忙しいこの役割にうんざりの態だ、平駅を発車して間もなく農業青年風の男から『乗り越し精算を願います』と本物に間違われて大あわて、さつそく本物車掌の北郷さんを呼んでなんなくこの場を済んで安心した、湯本駅を過ぎてから二十年以上車掌生活している北郷名車掌に案内され後部車輌から車輌毎に御丁寧な挨拶が初まつた、俄か車掌さんは名調子で客に紹介する北郷さんに続いていんぎんな敬礼をするだけ但し顔役だけあつて顔見知りの客が呼びとめ『青田さんお似合いですよ』と冷かされる、車窓からみる『勿来の関』や海岸線の曲線美などは眼の中に入らない忙しさだ

C六二（重量四百十五ト）に乗つた名誉機関士の宇佐見市、佐藤地区の両署長はすでに覚悟の表情でレバーを握る、機関室内は摂氏七十二度でうだる暑さ、震動の激しい上に騒音で会話はよく聞きとれぬ、客車とは格段の差だ、炭カスが眼の中に入つて始末に困る、前方をみていると踏切りやカーブで人が出はしないかと胆を冷す、こんな態で磯原海岸の景色は眼中になかつたよ、とは佐藤地区署長の弁、なんといつても苦しい仕事だ

トンネル内の真暗ら闇は驚いた、と感想は弾む

かくて汽車は予定コースより手を延ばし平―磯原間の一時間運転は終り再び地上の人となつた青田、宇佐見、佐藤三氏は口を揃えて『地上の方がよつぽど気持がよい』とほつとして溜息をつく（写真左から佐藤宇佐見諸橋青田氏らの勤務振り）

平市鍛冶町 電二九六、四七一
藤森商会
金庫と

廿日午後一時御着

高松宮様 直ちに會場へ

第七回国体重量挙競技観覧のため二十日午後五時白河市から来平の予定だつた高松宮様は日程を変更

二十日午後一時一分着常磐線下り急行で来平、直ちに自動車にて平市公会堂の重量挙競技場に至り、午後二時半まで観覧、二時半から自動車にて湯本町松柏館に至り一泊、翌二十一日午前九時出発で石川を経由し白河に向う

なお高松宮様の接待には平一中の小谷陽子、平三小の小泉綾子の両先生と磐女高から五生徒が選ばれ当ることになつている

ストを續行

昨日六千屯の減炭

常磐、古河好間、向洋の三炭鉱労働組合では十三日に引続き十四日もストに突入した、きのう一日間の減炭は六千四百十五屯と東部鉱連では言つている

民間協力者二人表彰

警察隊長賞

平地区署では十三日民間協力者として尽力した箕輪村高野農業高萩勝見氏（五四）小川村下小川字梅作農業鈴木利江氏（三七）二名の国警県本部湯浅隊長賞並びに佐藤平地区署長賞の表彰伝達式を行つた

◇高萩氏は去る八月十九日箕輪村高野地内山林中の送電鉄塔の下で服毒自殺未遂で人事不省となつていた早川富一さん（三五）を発見、道路を担ぎ込み自宅で応急措置を施し救助したもの

◇鈴木さんは去る三月十日平市下神谷字貝塚農業中沢ハルヨさん（五七）宅へ押し入り現金二千円を強奪逃走した強盗犯人久野福伊（二三）の逮捕にあたり小川村下小川地内の八幡神社内に潜伏していた同犯人を発見、平地区署へ連絡し逮捕出来たもの

【写真は国警県本部隊長賞に輝く高萩（左）、鈴木氏】

關東的な古代文化

研究會の歸途瀧口教授語る

日本考古学研究会主催の考古学研究会は去る十二日午後一時から双葉郡大久村浄土寺で、同寺及びその附近から発掘された石器、土器類二、三を調査資料として開き特に中央から講師として出席した斯界の権威早大教授瀧口宏氏ら三名が講演指導に当り盛会裡に研究会の幕を閉じたが、帰京途中磐高に立寄るため来平した瀧口教授ら講師団一行三名は十三日正午ごろ本社を訪ずれ始めて来郡し大久村地内の遺跡を見ての感想を左の如く語つた―

『当地方は北関東文化と東北文化の接しよく面に当るところで北関東文化については同行の前沢さんが調査研究中だが、大久村の遺跡には石器文化の末期から縄文文化の末期にかけての関東的なものが主として見られ其の一部には東北的なものも見られた、また遺跡周辺の大場山附近では石器時代から歴史時代に入つての土師（ハジ）時代文化の跡が見られ夏井村下大越地内の古寺跡の遺跡に似ていると思われたこれによつて石器時代から住んでいた人々の生活様式が綜合的に推測され考古学研究上非常に役立つた、大久村周辺の人々の中には古い時代のことは現実的とは無関係だと云つた考えをもつものも少くなかつた様だが、今度の研究会によつてこれらの誤つた考えが改められ古代文化研究会を創立しようと云う考えにまで発展した、今後ますます文化人の尽力を得て公民館、商校などの考古学資料整備を図り研究に専念して頂きたい』

新聞は戸毎の窓にさす光

新聞週間標語

○開業御知らせ○
タクシーの御用は
菊地タクシーへ
電話一九一番
（平市揺樋小路三一）
◎小型新車を揃えました　どうぞ御利用下さい
＝旧市内百円均一＝

たこ壺漁業の現地調査

福島海区漁調委では十四日から『たこ壺漁業』の現地調査を行う、同漁業に対する許可申請はいまのところ百七十六隻出されている、同漁業は漁業期間は漁場を独占するため漁場が限定される関係上現地調査が行われるわけ、日程は次の通り

▼十四日、新地▼十五日、中村▼十七日、久之浜▼十八日、四倉▼二十日、沼之内

種アワビ

來月に移殖

久之浜から勿来港に至るいわき七浜に移殖することになつた種アワビ事業の最終的移殖協議会は十三日午後一時から県水産試験場主催で同場会議室で開き当初の種アワビ購入数量六百五十貫を予算増額に伴い七百貫にふやし、来る二十日県水産試験場から緒形技師、小名浜漁協組菊田主事、江名漁協組馬目主事の三氏が購入先である岩手県細浦漁協組に出張契約手続をすることになつた、なお移殖は十一月中旬ごろの予定

天気予報

十四日

【今晩】北東の風曇りで小雨のぱらつくこともある【明日】北東の風一時やゝ強く曇りで時々小雨、海上今晩沿岸穏かですが沖合は多少風波ある、明日北東の風やゝ強く風波あるから小型漁船は注意を要す

ロボット樂團

あす來平

森永製菓では十八日から平市で開催する上野移動動物園のため『森永ロボット楽団』を十五日来平させ宣伝する

このロボット楽団は猿、熊、キリン、象、兎などのロボットが身振おかしく音楽を演奏するもので午前八時半から第一小、九時半から第三小、十時半から第二小、午後一時から平駅前、二時から七十七銀行前で披露するなお腹話術も行うが各学校では子供たちに歌を唄わせ上手な子にはテープレコーダーに吹込ませて録音したものを聴かせることになつているので人気を呼んでいる

國体見物 福島市行 旅客募集
来る十月十八日国体応援のため多数車輌が福島市へ参りますので御希望の方は御利用下さい
記
一、平駅前発午前八時＝一、料金 片道一人当二五〇円
一、福島市発午後一時＝一、切符は当日発売します
常磐交通自動車株式会社

平専門店会
会員の店
傳統ある店 信用のある品々 お買物は是非上記のマークある店にて
平専門店會 第三回 招待賣出し
抽せん所 平市三丁目 大村屋旅館前
賣出期間 10月15日より 26日まで
日車連週間
箱根遊らん
招待大売出し
50名サマ 熱海温泉一泊
お買上高200圓ごとに福引券1枚　100圓ごとに補助券1枚
古鍛冶町 鹽屋
一丁目 常磐屋時計店 武田陶器店 仙台屋呉服店 坂本紙店 田村無線電機
二丁目 伊關呉服店 吉田屋呉服店 大平小間物店 ヤマカ 福多屋 石川ミシン店 中野洋品店 丸高商店 根本時計店 大一屋 堀薬局 古山電氣商會 かみや 叶多商店 坂田金物店 白土陶器店
三丁目 佐川洋服店 六かや 田中カメラ やまと 太丸屋 佐野屋陶器店 丸ほん 永木タンス店 菊一靴店 星野時計店 岡萬年筆店 八百富
田町 富永電氣商會 正札堂 いづみや ヤマニ書房 エビスヤ 誠光堂時計店 ハシモトヤ糸店 あこう薬局 松月堂 あるが家具店 サロン 三井分店 マルサ食肉部 石川書店
才槌小路 マルエ 矢野輪業商會

不貞の行爲をなじる 犯行當時の心境

愛兒殺しの遺書の内容

愛児殺しの杉山重助は子供を海にほうりこんだ後小名浜町富カ浦公園で死を決し妻久子、両親、義父母及び妻の情夫鈴木に宛てた遺書を御通い帳十三枚に鉛筆で細く長々と綴り肌身離さず所持していた、内容は昂奮していたゝめ相当矛盾した点もあるが犯行当時の心理をよく出している、遺書内容次の通り（原文をなるべく活した）

妻久子へ

幸子ミチ子は死んだ、お前の気持はどうか、あれでも親としての気持か、おれが居ても鈴木氏とねばつて居る気か、子供を殺して俺は生きている気はない、一時も早く子供の所に行く、昨夜一寸お前と話したが、お前は子供を将来見て行く気があつたか今朝はそんな態度は少しもなかつたね、見る気があれば朝飯位は子供に食べさせられるはずだ二人で寝ていても子供を放つておくなんてあんまりではないか鈴木と夫婦になつても子供はひねくれる一方だ、お前には大分恥をかゝされ馬鹿にされたが今になつて判る、十月十二日太陽は西の山に入ろうとしている時幸子、ミチ子は死んで行つた三時ぼくは公園の上でこの手紙を書いている夜明けまでは死ぬつもりだ、幸子ミチ子が入つた水の上をかもめがずいくと淋しくとんでいる、今日は海も静かだ、自分の子供は死んだ『母ちやん』と云つたのは幸子だけミチ子は幼かつたせいもあるがすぐ死んだ二人とも泣く声はしなかつた、お前も可哀そうだが仕方がない、水の中でも母さんと呼んでいるだろう、自分もまごまごしてないで早く二人の所に行き何時までも守つて行く、どうやら海も水が一ぱいになつて来たようだ、父母上様にお前から宜しく云つてくれ僕は子供の所で死にたかつたが一旦家に帰つた、海に人が居るので死ぬ事が出来ず公園に来た僕は本当は三日程前からこの計画は立てて居たのだ、まさか俺がこんなことをやるとは思つて居なかつたろう

鈴木信雄へ

君も血も涙もあれば人妻を誘惑したり暴力を振つたりなどする事は出来ないはずだ、夫婦喧嘩の中に入り暴力を振つたのは一度や二度ではあるまい、それに君は焼もちやきだ、嫉妬するなら君の家庭を円満にしてから妬くものだ、俺は君のおかげで恥をかゝされた、あの日俺が家に入ると二人で寝ていて八時になつても起きなかつた何と云う破廉恥な男だ、男くさもちとは君のことを云うのだ、平和だつた俺の家庭を破壊したのは君自身だ、君の子供を放り出して他人の妻子のことを見たつてどうなる俺は妻からでなく君の方から浮気をして妻を誘惑したと思つて居る生きて居て君を恨むよりも死んで君を恨む、淋しく死んで行く

兩親様へ

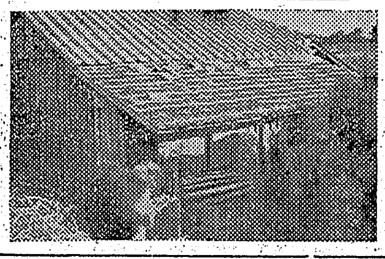
お先に地ごくに行くとは夢にも思つて居りませんでした、誠に申訳ない事をしました、子供を殺してからは自分も生きて居るとは思つて居ない、父母上様どうか重助のことをお許し下さい若い時は二度と来ないが人生わずか五十年の半ばで世を去り行く僕は本当に辛いですが仕方がありません、子供を可愛さのあまり遂に殺してしまいました、自分だけ死ぬ気で居りましたが子供まで道連れにしてしまいました、子供は十月十二日午前二時製塩工場下の海辺に入れました家を出たのは十時三十分頃です、子供と楽しく遊んで居るうちに幸子が『父ちやんカイコ取つて行くべ』と云つたのでカイコを取つて居るうちに気がいら立ちはじめましたそれでとうとう子供を殺してしまいました、原因は久子と相手の男、鈴木にあるのです鈴木は一家を持つて居るのですけれど全く色気狂いとしか思われません、自分の思う事なら何でもやり通すのです僕と久子が話をして居るとやき餅をやいて僕を撲つたり蹴つたりなどして暴力をふるいます、僕は久子を愛して居りましたのでだまつて居りました、この事は近所の人達もよくお判りだと思います

妻の兩親に

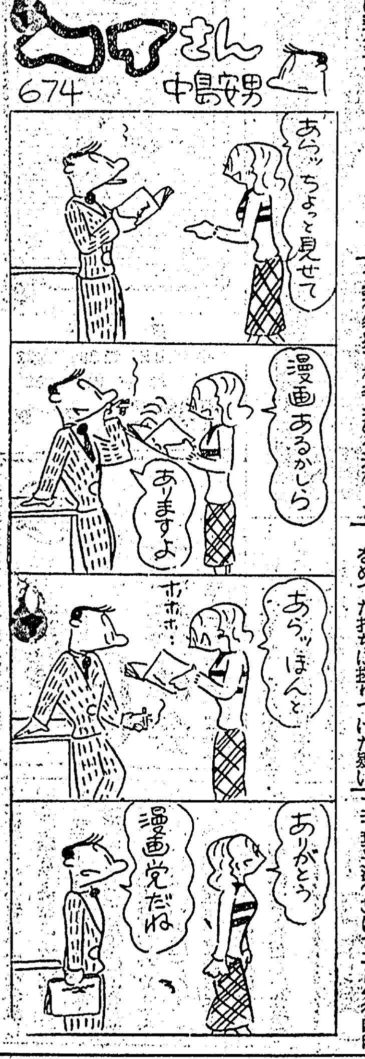
誠にすまないことをしました、僕が悪いばかりにこんなことになつたのでしょうが一概には言はれません、泉の鈴木と云う男が悪いと自分は思つて居ります、たとえどんな事があつても久子を可愛いばかりに何も云わずこれまで来ました

愛慾に狂う母久子 死兒を見て泣かず

無恥な情夫は世話を焼く



妻と情夫との乱行を悩み二人の子供を海になげ込み殺した泉村滝尻松原下一の二丸江運送店員杉山重助(三七)は小名浜－泉間を流れる藤原川の県道吉川橋西側下の一軒置農業上遠野徹さん方の北側に間口一間、奥行二間半のサツカケ小屋に住んでいたものでそこから一㌔下の海岸に溺死した長女幸子の死体は十三日午後薄暗い部屋の中に安置、丸机の上には誰が供えたか僅かばかりのブドウ、柿、ビスケットのほか数本の線香が上つているだけで殺風景、隣組の人達十数名と情夫鈴木信雄(三二)がおくめんもなく同家の世話を焼いている、幸子の死体解剖は十三日午後五時から藤原川堤で小名浜地区署鈴木署長、黒沢警察医立合の上行つたが久子は別に泣きもせず、これに引返えて長女幸子の死顔は純真そのもの、無惰な親をうらむような面影もなくすつきりした美しい表情で眠つていた（写真は杉山重助の住んでいるサツカケ、前方の女は妻久子）


さん
674
中島安男
あらッちょっと見せて
漫画あるかしら
ありますよ
ホホホ…
あらッほんと
ありがとう
漫画党だね

職安所員暴行者擧る

既報＝内郷地区署では十一日午前七時半ごろ内郷町金坂地内の平職安所内郷紹介所に労働者約四十名が雪崩れこみ暴行をはたらいた事件につき捜索中だつたが十四日朝同町宮目由労務者菊地與代吉(三八)を暴行容疑で検挙身柄を送検した

菊地は酔つぱらつて金坂紹介係員杉山伸(三〇)引地寿夫(三三)の両氏に代理人を使つて就労手帖を頼み紹介を受けようとして断られて憤慨し杉山氏の頭部を数回殴りつけたほか同所便所附近に引きずり出された引地君の顔面をめつた打ちに殴りつけた疑い

亂暴 内郷町綴字秋山一四二土工千葉平治(三七)は十二日午後四時半ごろ酔つぱらつて同字地内のマルタカパチンコ屋に侵入し玉売場の売娘に因縁をつけ硝子を破り器物毀棄の現行犯で内郷地区署に捕まつた

君 象 驛から會場まで何分かゝるか？

懸賞募集

十八日から五日間平市営グランドで開催される上野移動々物園の動物たちは十六日午後四時半平駅に到着同夜は同駅構内で一泊するが平市教育課では人気者の象君が平駅から会場まで凡そ二㌔の行程を何分で歩くかと題する所用時間当て懸賞を広く一般から募集する的中者には一等三百円（一名）二等二百円（二名）三等百円（三名）の賞金を贈る的中者多数の場合は抽せんによる、当日の行列は十七日午前九時朝日新聞のニュースカーを先頭にラクダ、象、ライオン使いのクレメンツさん、ライオンの順で進行する懸賞締切は十六日まで

杉山を送檢

次女の死体未だ擧らず

昨報＝小名浜地区署では泉村大字滝尻字松原下一の二丸江運送店員杉山重助(三七)を殺人容疑で十四日身柄送検した、一方次女ミチ子ちやん(四つ)の死体の捜索は十三日に引続き小名浜海上保安部で補助巡視船『黄菊』を十四日午前九時出動させて行つているが正午現在まだ発見されない

トラックを乗逃げさる

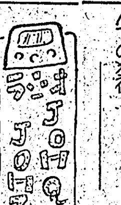
平市堂の前東部産業KK（社長松本栄一氏）では同社所有のトラックを乗逃げされたと十三日平地区署へ届け出た

十二日夜赤井村赤井地内の同社車庫に元同社員赤井村赤井土木請負業船生林(三四)が来て留守番の船生銀平さん(四〇)に『トラックのカギを貸してくれ』と云つてカギを借り受けトラックをもち出したもので十三日朝になつても戻つて来ないので調べたところ船生が妻の久子さんを連れて東京方面へ行つたことがわかつたもの、同署では詐欺、窃盗容疑で船生を指名手配した

船生を捜査中の東部産業に十四日正午ごろ船生から『スグカエル』と云う電報が入つた

二人に暴行

平市南町日雇松井正實(二七)は去る八日午前十一時二十分ごろ同字H屋石川リンさん(三五)方で雑談していた石川さんの情夫渡辺直次郎さん(四一)に『話しがある、顔をかせ』といつて襟首をつかんで外に連れ出して暴行を加え、更に石川さんにも暴行を加え十三日平市署から書類送検されたが、松井は石川さんに暴行で告訴されたのをうらんでの犯行



（15日）

前七・三〇 スポーツ福島 国体だより『本県の陣容を語る』
前一〇・三〇 学校放送小学校第三部『音楽の世界』安達郡完井村小学校
後〇・三〇 水曜日のコンサート 独唱 藤村晃一
後五・三〇 子供の時間『お琴と歌』大河原京子社中
後六・四五 芸能クラブ 三曲

アヅママルセル石鹸
質が良いので評判です
亀の子、角型、丸型 化粧用ホーサン石鹸等 各種
サンキュー 佐々木商店
平市かじ町 電一三六九

ナコソ味噌と醤油醸造元
株式会社 升田屋呉服店
社長 赤津敬次郎
勿来町窪田（電話1番）

墨繪うつしか淀の川べり!!惜春の別離に泣く女のまこと!!
満月三十石船（まんげつさんじつこくぶね）
山田五十鈴
河津清三郎（二役）
岸旗江 利根はる恵
同時上映 獅子のわな
大友柳太郎 広沢虎造 アチヤコ 坂東好三郎 月形龍
14日より二本立 民劇

洋服は髙島屋 平二

眼鏡専門 各眼科医指定

玉屋
平市二丁目 電910

大谷石 井上

音楽の店 高野文化堂
平市大通り三丁目角
（蓄音楽器部）

産婦人科 松本医院

かっぽう 開花

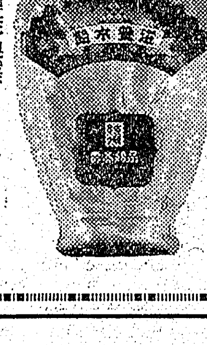
前田醫院
植田町本町六三 電話一二四番
労災保険指定診療所（入院室完備）
内科 産婦人科 性病科 前田清美
外科（胃腸科） 整形外科 レントゲン科 前田春雄

預金と無尽
株式会社 福島相互銀行
平市紺屋町 電131

トヨタミシン
平市一丁目本通り 電話一二三番 石川ミシン商会

おいしいパンは良いイーストで
強力酵母の ニットーイースト
大日本製糖株式会社
浜通り特約店 株式会社 平製パン商事部
平鍛冶町電21

新發賣
御贈答用に ビン詰滋養水飴
市内各有名菓子店、食品店にて



御製造 各種飴菓子製造所 根本商店 平市長橋町

看護婦募集 大和田醫院 平市南町 電一七〇

秋冬のメリヤス
特大ものサービス中
◇各種多量に入荷しました

平駅
白銀通
三十水道路
中央通

茶目や

嫌われ者が今や人氣の中心
十%もちぢんだのが三%程度になり、樹脂加工のお蔭でいやな光が消え腰の強い生地となつた化セン服地はスカートが四、五百円で出来る安さも手伝つて今や人気の中心となりました
●おすゝめ出来る値ごろ品
●サージ一ヤール 一八〇円
●メルトン〃 二一〇円
小名浜 平市 藤越